



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年5月1日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 「最後の別れ」守りたい

5月1日(日)=1、3面

新型コロナウイルスの感染拡大で、東京都内では亡くなられた方との「最後の別れ」があまりできていません。風評被害を恐れる葬儀社もあり、故人と会えずに火葬されるケースも多いといいます。

遺体安置施設「想送庵カノン」(東京都)では、対面での葬儀を望む遺族に場所を提供しています。感染防止対策を万全にした上で、遺族と故人に大切な時間を過ごしてもらっています。「ひつぎのそばで遺族は、故人と会

話にならない会話をします」。カノンの運営会社の三村麻子社長＝写真＝はこう話します。三村さんが「最後の別れ」にこだわる理由の一つには、娘ががんで亡くなる前に話してくれた、ある言葉がありました。



迫る

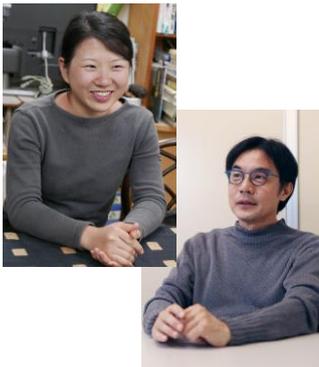
## 論点

### 沖縄復帰50年 本土で沖縄を考える

5月6日(金)=オピニオン面

沖縄は5月15日で日本復帰から50年を迎えます。米軍基地問題などで本土との溝は今も残っています。本土から訪れる観光客の多くは、こうした問題を素通りしているようにもみえます。地元紙、沖縄タイムスの元記者で東京在住の

ジャーナリスト、渡辺豪さん(53)＝写真右＝と、那覇市の高校で学び、今は郷里の石川県珠洲市で沖縄関連の活動を続ける坂本菜の花さん(22)が、体験を交えながら、この問題に向き合う意味について語りました。



## ネット空間「個人の尊厳」は

5月3日(火)

＝特集面

社会や経済のデジタル化が急速に進んでいます。インターネットで個人情報が企業などに収集され、そのビッグデータがAI(人工知能)で分析され、自身に知らないうちに利用されています。SNS(ネット交流サービス)では、他人を中傷する投稿が深刻な問題となっています。憲法で保障され

## 特集ワイド

### 坂上忍さんのメディア論

5月2日(月)=夕刊特集ワイド面

フジテレビ系平日昼の情報番組「バイキングMORE」のMC(司会)を今春まで8年間務めてきたのが、タレントの坂上忍さん(54)＝写真＝です。テレビで人気の毒舌家であり、バイキングで

舌鋒(ぜっぼう)鋭くニュースや社会問題に切り込んだ姿は記憶に新しいところですが、「実はあちらこちらから怒られて大変でした」とも話しています。メディアを取り巻く昨今の環境に、思うと

ころをすべて話してもらいました。



新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

よりぜひご参加ください  
(千代崎聖史)



ロシアによるウクライナ侵攻が続いている。戦禍のいまは、市民の報じるとともに、市民の安全を確保することも重要な課題だ。市民の安全を確保することも重要な課題だ。市民の安全を確保することも重要な課題だ。

竹橋の窓辺から

編集後記

